

平成9年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成9年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成10年2月5日(木)に静岡ステーションホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者44名、委託関係者52名ほか、計101名の参集を得て、除草剤13薬

剤(96点)、生育調節剤9薬剤(40点)、について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成9年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. AK-01 液剤 (グリホエキス) (エイトアップ) (サンフーロン) グリホサートイソプロピルアミン塩 41% [TAC普及会]	カン キツ	適用性 新 規	三重農技紀南、 香川農試府中、 愛媛果試岩城、 福岡農総試園研、 宮崎総農試 (5)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25、50ml<5、10ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトール液剤 25ml<5ℓ>	継 継)	・効果、薬害の確認。
		適用性 新 規	大阪農技、 兵庫淡路農技、 広島農技果樹常緑 大分柑試 (4)	[多年生雑草(スサを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;50、100ml<5、10ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトール液剤 50ml<10ℓ>		
		薬 害 新 規	神奈川根府川、 広島果樹柑橘研 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ;200→200ml<10ℓ>;土壌処理 ②春期又は夏期 ; 300ml<10ℓ>;土壌処理 ③春期又は夏期 ; 25ml<10ℓ>;茎葉処理		
2. CG-231 乳剤 新規化合物 100g/ℓ (つづく)	カン キツ	作用性 新 規	果樹試(口之津) (1)	[一年生雑草] (参考設計) 春期及び夏期 ;10、20、40ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトール液剤 50ml<10ℓ>	継 継)	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
		適用性 新 規	神奈川根府川、 静岡柑試伊豆、 大阪農技、 広島果樹柑橘研、 大分柑試 (5)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈20cm以下) ;16、20、24ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:ラクトール液剤 50ml<10ℓ>		

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
2. CG-231 乳剤 (つづき) [ノバルティス アグロ]	カン キツ	薬 害 新 規	神奈川根府川、 広島果樹柑橘研 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ; 48→48ml<10ℓ>;土壌処理 ②春期又は夏期 ; 120ml<10ℓ>;土壌処理 ③春期又は夏期 ; 20ml<10ℓ>;茎葉処理		
3. CG-231GT 70777ℓ剤 CG-231(新規化合物) 40g/ℓ 既知化合物 157g/ℓ [ノバルティス アグロ]	カン キツ	作用性 新 規	果樹試カキヲ (口之津) (1)	[雑草全般;水量とノズル] 春期及び夏期 (参考設計) 雑草生育期 ;50ml<10ℓ> 通常ノズル 50ml<5ℓ> 通常ノズル 50ml<5ℓ> ラウトノズル ;茎葉処理 対:ラウトノズル液剤 50ml<10ℓ> 通常ノズル	継 続)	・成分未公開. ・効果、薬害の確認.
		適用性 新 規	静岡柑試、 和歌山果園試、 香川農試府中、 福岡農総試園研、 大分柑試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:ラウトノズル液剤 50ml<10ℓ>		
4. DKH-628 70777ℓ剤 アザフェニジン 11% グリホサートトリメシム塩 28% [セネカ、デュポン]	カン キツ	適用性 継 続 (8年度 秋冬)	千葉暖地園試、 大分柑試津久見 (2)	[雑草全般] 早春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm程度) ;40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タチタケン液剤 50ml<10ℓ>	実 継	実)[カンキツ:雑草全般] ・早春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40～60ml/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・秋冬期処理の継続.
		適用性 継 続	静岡柑試、 三重農技紀南、 山口大島柑試、 徳島果試、 愛媛果試南予、 佐賀果試、 大分柑試津久見、 鹿児島果試 (8)			
	ビ ワ	適用性 継 続 (8年度 秋冬)	長崎果試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm程度) ;40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タチタケン液剤 50ml<10ℓ>	継 続)	・効果、薬害の確認
		適用性 継 続	千葉暖地園試、 長崎果試、 鹿児島果試 (3)			
		薬 害 継 続	千葉暖地園試、 長崎果試 (2)	[薬害試験] ①春期及び夏期 ;120→120ml<10ℓ>;土壌処理 ②春期又は夏期 ; 300ml<10ℓ>;土壌処理 ③春期又は夏期 ; 60ml<10ℓ>;茎葉処理		

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
5. HSD-972 7077 [®] 剤 既知化合物A 120g/ℓ 既知化合物B 140g/ℓ [7 [®] レボシ [®] ハ [®] ン、 デ [®] 1 [®] ン、三共]	カン キツ	適用性 新 規	静岡柑試、 和歌山果園試、 愛媛果試、 佐賀果試、 大分柑試津久見 (5)	[雑草全般] 早春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30、40、50、65ml<10ℓ> ; 茎葉処理 対: 7 [®] リグ [®] ロックス [®] 液剤 100ml<10ℓ>	継	継) ・成分未公開。 ・効果、被害の確認。
6. MON-93A 液剤 (ブロンコ) グ [®] リハサート [®] アゾモニウム塩 33% [日本モンサント]	カン キツ	適用性 継 続	愛知農総試蒲郡、 兵庫淡路農技、 愛媛果試岩城、 佐賀果試、 鹿児島果試 (5)	[多年生雑草(ス [®] ナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<5ℓ>、 100ml <2.5(少水量散布/ス [®] ル)、10ℓ> ; 茎葉処理 対: ラント [®] ア [®] 7 [®] 液剤 50ml <2.5ℓ(少水量散布/ス [®] ル)>	実	実)[カンキツ : 雑草全般(ス [®] ナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 : 25～50ml/a 多年生雑草対象 : 50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a(専用/ス [®] ル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・茎葉処理.
7. MON-96A 液剤 グ [®] リハサート [®] アゾモニウム塩 41% (つづく)	カン キツ	作用性 継 続	果樹試カンキツ部 (興津) (1)	[雑草全般] 夏期 雑草生育期 (一年生対象) ; 25ml<2.5、10.0ℓ> (多年生対象) ; 50ml<2.5、(10.0)ℓ> ; 茎葉処理 対: ラント [®] ア [®] 7 [®] 液剤、 タ [®] チ [®] タ [®] ン [®] 液剤 (2.5ℓは少水量散布/ス [®] ル)	実・ 継	実)[カンキツ : 雑草全般(ス [®] ナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 : 25～50ml/a 多年生雑草対象 : 50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a(専用/ス [®] ル使用)、 5.0～10.0ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・効果、被害の確認。
		適用性 新 規 (8年度)	兵庫淡路農技 (1)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 25ml<2.5、5 (少水量散布/ス [®] ル)、10ℓ>、 50ml<5ℓ(少水量散布/ス [®] ル)> ; 茎葉処理 対: ラント [®] ア [®] 7 [®] 液剤 25ml <2.5ℓ(少水量散布/ス [®] ル)>		
		適用性 継 続	三重農技紀南、 兵庫淡路農技、 香川農試府中、 熊本農研天草 (4)			
		適用性 新 規 (8年度)	山口大島柑試 (1)	[多年生雑草(ス [®] ナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml<2.5、5 (少水量散布/ス [®] ル)、10ℓ>、 100ml<5ℓ(少水量散布/ス [®] ル)> ; 茎葉処理 対: ラント [®] ア [®] 7 [®] 液剤 50ml <2.5ℓ(少水量散布/ス [®] ル)>		
		適用性 継 続	兵庫淡路農技、 香川農試府中(秋)、 熊本農研天草、 大分柑試(夏2) (4)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
7. MON-96A 液剤 (つづき) [日本モンサント]	カン キツ	適用性 新 規 (8年度) 適用性 継 続	愛知農総試蒲郡、 山口大島柑試 (2) 静岡柑試、 愛知農総試内海、 山口大島柑試、 大分柑試 (4)	[スギナ] 春期 生育期(草丈20-25cm程度) ;150ml<2.5、5.0ℓ>、150ml<5ℓ> ;茎葉処理 対:タッチダウン液剤 200ml<5ℓ> (共に少量散布/ズル)		
8. NH-501 707F液剤 (サンダーボルト) グリサートリメシウム塩 28.5 % ピラフルフェニル 0.19% [日本農業、ゼネカ]	カン キツ	適用性 継 続	<大阪農技>、 <広島果樹常緑>、 <愛媛果試岩城>、 <宮崎総農試> (4)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ;40、50、60ml<10ℓ> ;茎葉処理 対:タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	-	-
9. PR-084 液剤 (オルゼット液剤) グリサートリメシウム塩 32 % ジクワット 1.9% [オルゼット協議会 ;ゼネカ]	カン キツ	適用性 継 続	大阪農技、 兵庫淡路農技、 広島果樹柑橘、 香川農試府中、 熊本農研天草 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25、50、75ml<5ℓ> (25mlは一年生雑草対象) (専用ノズル) ;茎葉処理 対:オルゼット液剤 50ml<10ℓ>	実	実)[カンキツ:雑草全般] ・春~夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・25~75ml/a <2.5~5.0ℓ/a(専用ノズル使用)、 5.0~10.0ℓ/a> (但し、25ml/aは 一年生雑草対象). ・茎葉処理.
10. S-878 顆粒水和剤 グリホネート 12.0% S-482 1.2% [住友化学工業]	カン キツ	適用性 継 続 適用性 継 続	神奈川根府川、 大阪農技、 愛媛果試、 長崎果試<夏>、 大分柑試 (5) 愛知農総試内海、 広島果樹柑橘研、 高知農技果試、 熊本農研天草、 大分柑試 (6)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;30、50g<10ℓ> ;茎葉・土壌処理 対:ブリガロキル液剤 100ml<10ℓ> [多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;50、100g<10ℓ> ;茎葉・土壌処理 対:ハスタ液剤 50ml<10ℓ>	実・ 継	実)[カンキツ:雑草全般] ・春~夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 ;30~50g/a 多年生雑草対象 ;50~100g/a<10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・多年生雑草50g/aの効果確認.
11. SC-224 液剤 (タッチダウン) グリサートリメシウム塩 38% (つづく)	カン キツ	適用性 継 続	神奈川根府川、 和歌山果園試、 熊本農研果樹、 宮崎総農試 (4)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;20ml<0.4、1.0ℓ> 40 <1ℓ> 60 <0.4、1.0ℓ> (専用ノズル・散布器) ;茎葉処理 対:タッチダウン液剤 40ml<10ℓ>	実・ 継	実)[カンキツ :雑草全般(スギナを除く)] ・春~夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・40~60ml/a<1.0ℓ/a (専用ノズル使用)). ・茎葉処理. 継) ・20ml/aの0.4ℓ/a散布の効果 確認.

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
11. SC-224 液剤 (つづき) [タチガクン協議会 ;ゼネカ]	ビワ	適用性 継 続	千葉暖地園試、 長崎果試、 鹿児島果試	[雑草全般] 春期および夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;20ml<2.5、5.0ℓ> 40 <2.5ℓ> 60 <2.5、5.0ℓ> (20mlは一年生雑草対象) (専用/スル) ;茎葉処理 対:タチガクン液剤 40ml<10ℓ>	実	実)[カンキツ、ビワ ;雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・20～60ml/a <2.5～5ℓ/a(専用/スル使用)、 5.0～10ℓ/a> (但し、20ml/aは 一年生雑草対象). ・茎葉処理.
12. WOC-01 液剤 (三共グリスート液剤) グリスートイソプロピルアミン塩 41% [三共]	カン キツ	適用性 継 続	広島果樹常緑、 山口萩柑試、 愛媛果試、 高知果試、 宮崎総農試	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;25、50ml<2.5ℓ> ;茎葉処理 対:グリスートイソプロピルアミン液剤25ml<2.5ℓ> (共に専用/スル)	実・ 継	実)[カンキツ ;雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下). ・一年生雑草対象 25～50ml/a、 多年生雑草対象 50～100ml/a <2.5～5.0ℓ/a(専用/スル使用)、 5.0～10ℓ/a>. ・茎葉処理. 継) ・少水量散布2.5ℓ/a及び通常/ スル5.0ℓ/a散布の効果確認.
13. グリホサート 液剤 (ラウンドアップ) グリスートイソプロピルアミン塩 41% [日本モンサント]	カン キツ	適用性 継 続 (8年度)	(翌春調査) 静岡柑試(春・夏)、 山口大島かん試 (春1・夏2)、 大分柑試(春)	[スギナ;草種の拡大] (根絶効果と連年施用) 春期及び夏秋期 ;200ml<2.5、5.0ℓ> ;平成7年度春期200ml/5.0ℓ区 に本年度春期200ml/5.0ℓを連 用(専用ノズル使用) ;茎葉処理 対:バス液剤 100ml<10ℓ>	実	実)[カンキツ:スギナ] ・春～夏期(スギナ生育期). ・200ml/a<2.5～5ℓ/a> (専用/スル使用). ・茎葉処理. 注) ・根絶する場合は、連年散布が 必要である.

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. ジベレリン 水溶剤 (ジベレリン協和粉末) (ジベレリン明治) (ジベレリンTM顆粒) ジベレリン 3.1% (つづく)	ボン カン	適用性 継 続	<静岡柑試>、 <愛媛果試>、 <鹿児島果試>	[水腐れ防止] ①着色開始時～1分着色期 1ppm ②着色開始時～1分着色期 2ppm ③3～4分着色期 1ppm ④3～4分着色期 2ppm ;枝別散布 展着剤770-FBI 1,000倍加用 対:無処理	—	—

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. ジベレリン 水溶剤 (つづき)	不知火	適用性 継 続 (8年度)	静岡柑試、 広島果樹柑橘研、 熊本農研果樹 (3)	[落果防止] 満開後7~10日後 ; 25, 50ppm ; 果実散布 対: 無処理	実・ 継	実)[不知火: 着果安定 (落果防止)] ・ 満開後7~10日. ・ 25~50ppm. ・ 果実散布. 継) ・ 散布時期について.
		適用性 継 続	愛媛果試、 愛媛果試南予、 熊本農研果樹、 熊本農研天草 (4)			
	日向夏	適用性 新 規	宮崎総農試亜熱帯 (5、8、9年度) (1)	[無種子化] 満開後7~10日後 ; 300, 400, 500ppm ; 果実散布<滴り落ちる程度> 対: 無処理	実・ 継	実)[日向夏(施設): 無種子化 及び着果安定(落果防止)] ・ 満開後7~10日. ・ 300~500ppm. ・ 果実散布. 継) ・ 濃度について.
	長門ユズキチ (無核)	適用性 自 主	平成2, 8, 9年度 山口萩柑試 (3)	[結実率の向上] 開花期、落弁期、開花期+落弁期 50, 100, 200ppm ; 花(果)房散布 対: 無処理	実・ 継	実)[長門ユズキチ : 着果安定(結実率の向上)] ・ 開花期~落弁期. ・ 50ppm, 1回散布. ・ 花又は果実散布. 継) ・ 濃度、回数について.
[日本ジベレリン研究 会; 協和醗酵工業]	カシウ ミカ	作用性 自 主	山口大島柑試 (1)	[浮皮の発生]	—	—
2. ジベレリン 液剤 (ジベレリン協和液剤) ジベレリン 0.5% [日本ジベレリン研究 会; 協和醗酵工業]	サガ マンダリン	適用性 継 続	佐賀果試 (1)	[落果防止] ①満開期 50ppm ② “ 25ppm 及び満開10日後 25ppm ; 果実散布<滴り落ちる程度 に1~2回散布> 対: 無処理	実	実)[サガマンダリン: 着果安定(落果防止)] ・ 開花日~満開後15日. ・ 25~50ppm, 1~2回散布. ・ 花又は果実散布.
3. AKD-8083 乳剤 MCPB (製剤変更) (つづく)	伊予柑	作用性 継 続	<果樹試み部 (口之津)>、 <鹿児島大学> (2)	[へた落ち防止 (越冬果実の落果防止)] 収穫20~10日前 1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④対: GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 <30~40ℓ> ; 立木全面散布又は枝別散布 ; (常温貯蔵による)	—	—

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
3. AKD-8083 乳剤 (つづき)	伊予柑	適用性 継 続	〈愛媛果試〉、 〈香川農試府中〉 (2)	[へた落ち防止、2倍薬害試験] 収穫20～10日前1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④1,000倍(薬害) ⑤対:GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 〈30～40ℓ〉 ;立木全面散布又は枝別散布 ;(常温貯蔵による)		
		適用性 継 続	〈和歌山果園試〉、 〈広島農研果研〉、 〈山口萩柑試〉、 〈熊本農研果研〉 (4)	[へた落ち防止] 収穫20～10日前1回散布 ①無処理 ②3,000倍 ③2,000倍 ④対:GR-58乳剤 2,000(又は3,000)倍 〈30～40ℓ〉 ;立木全面散布又は枝別散布 ;(常温貯蔵による)		
4. CS-2H 水溶剤 (セルバイン) 硫酸カルシウム二水和物 57% 塩化カルシウム 27% その他 16%	ウツクミカン	適用性 継 続	静岡柑試(8年度)、 広島果樹常緑、 〈愛媛果試〉、 福岡農総試園研、 佐賀果試、 長崎果試、 山口大島柑試 ;自主 (7)	[浮皮防止(予措)] ①8/下→9/下 300倍液2回 ②8/下→9/下→10/中 300倍液3回 ③クレソノ水和剤 着色開始期から100倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 (着色の早い品種での秋期処理 は、着色開始期までに終了する) 対:無処理	実	実)[ウツクミカン:浮皮防止] ・夏秋期、20～30日間隔の2～3 回散布。 ・300倍液 (果実から滴り落ちる程度)。 ・立木全面散布。
		適用性 継 続	〈神奈川根府川〉、 〈静岡柑試〉、 〈和歌山果園試〉 (3)	[予措(浮皮防止)] ①8/下→9/下→10/中 300倍液3回 ②9/下→10/中→11/中 300倍液3回 ③クレソノ水和剤 着色開始期から100倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 対:無処理	-	-
(つづく)						

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
4. CS-2H 水溶剤 (つづき)	ボン カン	作用性 新 規 (7年度)	〈熊本農研果研〉 (1)	[果皮障害の予措;コハジ症、 水腐れ、焼け等] (参考設計):詳細は、一任 果実生育旺盛時 ;300倍液 3~5回散布 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 対:無処理	—	—
		作用性 継 続 (口之津)	果樹試み部 (1)			
	不知火	作用性 継 続 (8年度)	〈熊本農研果樹〉 (1)			
[白石カルシウム]		作用性 新 規	熊本農研果樹 (1)			
5. GR-58 乳剤 (マデック) MCPB 20% [7カネシヨウ]	ネーブル オレンジ	適用性 継 続 (6年度)	〈熊本農研果研〉 (1)	[越冬果実の落果防止] 11月中旬と12月中旬の2回散布 ①無処理 ②3,000倍→3,000倍 ③2,000倍→2,000倍 ;立木全面散布 (袋掛けする場合は最終散布後)	実・ 継	(平成6年度どおり) [ネーブル:冬の落果防止]
6. HOK-813 乳剤 7エチオール 20%	伊予柑	適用性 継 続	〈静岡柑試伊豆〉、 〈和歌山果園試〉、 〈広島果樹柑橘〉、 〈山口萩柑試〉、 〈香川農試府中〉、 〈愛媛果試〉 (6)	[へた落ち防止] ①収穫前10日 50ppm ② " 100 ③対: " 30日 100 ④対: " 10日 GR-58乳剤 100ppm ⑤無処理 ;立木全面散布 〈果実から滴り落ちる程度〉	—	—
	甘 夏	適用性 継 続	〈静岡柑試伊豆〉、 〈三重農技紀南〉、 〈広島果樹柑橘〉、 〈山口萩柑試〉、 〈香川農試府中〉、 〈徳島果試〉 (6)	[へた落ち防止] ①収穫前10日 50ppm ② " 100 ③対: " 30日 100 ④対: " 20日 GR-58乳剤 66.7ppm ⑤無処理 ;立木全面散布 〈果実から滴り落ちる程度〉		
	ネーブル オレンジ	適用性 継 続	〈静岡柑試〉、 〈広島果樹柑橘〉、 〈山口萩柑試〉、 〈香川農試府中〉、 〈徳島果試〉、 〈熊本農研果樹〉 (6)			
	伊予柑	薬 害 新 規	〈香川農試府中〉、 〈愛媛果試〉 (2)	[倍量薬害] 収穫10日前 ① 200ppm ②対:100ppm ③無処理 ;立木全面散布 〈果実から滴り落ちる程度〉		
	甘 夏	薬 害 新 規	〈香川農試府中〉、 〈徳島果試〉 (2)			
[北興化学工業]	ネーブル オレンジ	薬 害 新 規	〈香川農試府中〉、 〈徳島果試〉 (2)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
7. MB-975 液剤 既知化合物 A 64% 既知化合物 B 16% [丸和ハイケミカル]	早生 カンショ ミカン	作用性 新 規	果樹試カンショ部 (口之津)、 鹿児島大学、 静岡柑試 (3)	[減酸] (参考設計):詳細は一任 ①7/上→7/下→8/中 200倍液3回 ②7/上→7/下 200倍液2回 ③ 7/下→8/中 200倍液2回 ④7/上 →8/中 200倍液2回 ⑤9/上→9/下→10/中 200倍液3回 ⑥9/上→9/下 200倍液2回 ⑦ 9/下→10/中 200倍液2回 ⑧9/上 →10/中 200倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 展着剤770-α-B I 2,000倍加用 対:無処理	継 継) ・効果の確認.	
		適用性 新 規	和歌山果園試、 広島果樹常緑、 山口大島柑試、 愛媛果試、 佐賀果試、 長崎果試、 熊本農研果樹 (7)	[減酸] ①9/上→9/下→10/中 400倍液3回 ② " 200倍液3回 ③9/上 →10/中 400倍液2回 ④ " 200倍液2回 〈果実から滴り落ちる程度〉 ;枝別処理 展着剤770-α-B I 2,000倍加用 対:無処理		
8. PDJ+GA, (現地混用)液剤 n-propyl Dihydroj asmonate(DPJ) 5% Gibberellic Acid (GA ₃) 4% [日本ゼオン、 バル企画]	日向夏	作用性 新 規	静岡柑試;自主 果樹試カンショ部 (興津)、 〈静岡柑試伊豆〉、 愛媛果試南予 (3)	[着果向上、果実肥大] :別途協議	-	-
9. RIC-1 液剤 海藻ヒソネット (つづく)	不知火	作用性 継 続	果樹試カンショ部 (口之津)(2) (2)	[苗木の根および地上部の 発育促進] :3~4月 :2、3、5、8ml/樹<1~3ℓ/樹> :灌水処理 :ルートネット使用 対:無処理<1~3ℓ/樹>	実・ 継 継) [カンキツ:根の発育促進] ・3~4月 ・原液1~3ml/樹 〈1.0~3.0ℓ/樹〉. ・灌水処理. 継)・効果の確認.	
		適用性 新 規 (8年度)	静岡柑試、 〈愛媛果試南予〉、 〈愛媛果試岩城〉、 熊本農研果樹 (4)	[苗木の根および地上部の 発育促進] :3~4月 :1、2、3、5ml/樹<1~3ℓ/樹> :灌水処理 :ルートネットか不織布ネット (翌年への影響も調査) 対:無処理<1~3ℓ/樹>		
		適用性 継 続	静岡柑試、 〈愛媛果試岩城〉、 〈熊本農研果樹〉 〈翌春調査〉 (3)			

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
9. R I C - 1 液 剤 (つづき)	カンショ ミナ	作用性 継 続 (8年度)	果樹試み部 (興津) (1)	[樹勢強化・品質向上] 土壌処理及び葉面散布 ;土壌 3月下旬 <原液100ml> ;葉面 5月上旬、5月下旬 の2回	—	—
		作用性 継 続	果樹試み部 (興津)、 鹿児島大学、 静岡柑試 (3)	①土壌→葉面 5,000倍液 ② " → " 3,000倍液 (前年と同一樹で実施) 対:無処理	—	—
	伊予柑	適用性 継 続	愛媛果試南予、 愛媛果試岩城 (2)	[樹勢強化・品質向上] (連年処理希望) 詳細は、申請書を参照	実・ 継	実)[伊予柑:樹勢強化による 着果安定及び果実肥大促進] ・3月;土壌灌水 +4月~9月;立木全面散布. ・灌水;0.1ℓ/a <500~1000倍液> 散布;5,000~3,000倍液 <25~50ℓ/a>、 1ヶ月毎に4~6回. 継)・効果の確認.
	清 見	作用性 継 続	果樹試み部 (口之津) (1)	[樹勢強化・品質向上] (5年連用試験を希望) 詳細は、申請書を参照	—	—
	早生 カンショ	作用性 継 続	果樹試み部 (口之津) (1)		—	—
[ロイヤルソグストリス]	不知火	適用性 継 続	愛媛果試岩城 (1)	[樹勢強化・品質向上] (連年処理希望) 詳細は、申請書を参照	継	継)・効果の確認.

新刊

SHIBUYA INDEX

—Index of Pesticides— 1996年版

(英語版)

渋谷成美・ほか／編集 A4判 850頁 定価30,000円(税込)

1978年に第1版を発行して以来、簡便に使える農薬リストとして知られていた本書の第7版。世界の農薬すべてを網羅し、一般名、商品名、コードナンバー、メーカー名、構造式、適用場面、特性を記載。単剤3,300余種を構造別に整理し、関連化合物の検索も容易にできる。また、混合剤で4,100余種も掲載。

呈内容見本

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館) 電話/03-3833-1821 FAX/03-3833-1665